

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H30道の駅機能向上及び効果分析検討業務
業 務 概 要	本業務は、「道の駅」を活用した高速道路一時退出社会実験の調査分析及び検討や外国人観光客に対する道の駅の認知度向上の手法を検討するとともに、重点「道の駅」の取り組み支援、好事例や先進事例のとりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成30年 6月 5日
契 約 業 者 名	一般財団法人国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門三丁目12番1号ニッセイ虎ノ門ビル
契 約 金 額	¥25,002,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥25,034,400円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するにあたっては、高度な技術力や知識、豊富な経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により、請負業者の選定を行った。 一般財団法人国土技術研究センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 国土交通省関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成30年 6月 6日
履 行 期 間 (至)	平成31年 2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。